



南小だより

<http://azalea.ac.city.myoko.niigata.jp/kogenminami-s/>

〈教育目標〉

みんな なかよし

〒949-2112 妙高市関川1592

TEL: 0255-86-2104

FAX: 0255-86-3212

道 標 (みちしるべ)

§ 恥はかいても義理欠くな

私は高校を卒業した後、いわゆる浪人生活を1年間送り、19歳の4月から実家がある千葉県柏市を離れ、上越市での学生生活を始めました。

毎年、お盆と正月には実家に帰省していました。当時は、上野⇄金沢を「白山」という特急電車が走っていて、帰省の際は「白山」に乗り、上野⇄高田を行き来しました。

数日間を実家で過ごし、明日には新潟に戻るといふ日の晩になると、母は決まっておそそと荷作りを始めます。そして「これは〇〇先生へ。これは〇〇さんと〇〇さんへ」と私が新潟でお世話になっている方へのお土産を準備するのです。

私は「いつも同じ物だし、毎回毎回持っていかなくてもいいんじゃない。電車だって混んでいるんだから、たくさんの荷物を持って電車に乗るのは嫌なんだ」と言って、母が用意したお土産を拒んだことがありました。

私と母のやり取りを聞いていた父は、「母さんが用意してくれた荷物をちゃんと持っていくんだぞ。昔から『恥はかいても義理欠くな』っていうんだ」と言ったのです。

『恥はかいても義理欠くな』・・・やがて、社会人となり、家庭そして子どもをもち、この言葉の意味を実感することがあります。まだうまくできないなあと思うこともありますが、35年以上経っても忘れられない亡き父の言葉です。

§ 「ありがとう、先生！」

「ありがとう、先生！」(2013年 飯塚書店)という本があります。この本には、子どものころに先生が話してくれた忘れられないひとことが、簡単なエピソードとともに綴られています。

そのいくつかを紹介します。

「元気は出るのではなく、出すものです」

テニスの試合でのこと。相手に追い込まれ、応援の音が小さくなりかけて、いやなムードが広がったとき、先生のこのひとことで劣勢を跳ね返すことができました。いまでもこの言葉を思い出して、元気を出しています。

「何もしない人は、失敗もしません」

学校に来た講師の方にお茶を出そうとして、急須を割ってしまったことを先生に報告しに行ったとき、慰めてくださるかのようにこの言葉をかけてくれました。ずっと心に残っています。

「誰が正しいかではない。何が正しいか、だ」

あの人が出たから、あの人に言われたから・・・と言って、結局は言い訳をしていた私を叱ってくれた言葉です。自分自身で判断することの大切さを教わりました。

§ 心は受け継がれていく

親や教師の言葉は、やさしく、温かく、力強く子どもの心に響き、その子(人)の人生の道標になっていることに改めて気付かされます。



挫折感を味わったとき、どうしたらいいかわからなくなったとき、より豊かな生き方を求めようとするとき、子どものころに聞いた親や教師からの言葉がその人を支えることもあるのです。それは、きっとその言葉には、子どもへのたくさんの愛情と子どもよりも長く生きていた分の経験で学んだ思いが込められているからなのでしょう。

歴史上の偉人たちの言葉が今に伝わるように、私たちのささやかな思いや信念も、世代や時代を超えて静かに受け継がれていくはずですよ。

竹の子汁づくり

〈6月5日(水)〉



なかよし班ごとに竹の子の皮むき、調理、かまどの火おこしなど、事前に決めた役割分担で準備を進め、おいしい竹の子汁を味わうことができました。

また、午後からのチャレンジタイムでは班対抗でゲームを行い、班のメンバーの絆を深めることができました。

保護者の皆様からは、たくさんの竹の子を提供していただき、ありがとうございました。

妙高高原中学校区学校運営協議会 〈6月10日(月)〉

中学校区の各学校から選出された24名の委員が集まり、妙高高原中学校区学校運営協議会(コミュニティ・スクール(CS))が開催されました。妙高高原南小では、下記のように8名の方がCS委員として市教育委員会より委嘱されました。

また、6月26日(水)には妙高高原南小CS委員会を開催し、今年度の方針や活動について協議をしました。なお、9月4日(水)親子奉仕作業の折に、コミュニティ・スクールについての保護者向け説明会を開催する予定です。

〈妙高高原南小CS委員(敬称略)〉

氏名	役職	氏名	役職
引場 良男	副会長	横山寿美子	コーディネーター
築田 俊幸		長尾千代美	事務局員
竹田 竜也		駒村 鮎美	事務局員
芦野 昌代		湯浅 昭司	

7月の主な行事予定

2日(火)	全校朝会 すこやかウィーク(～8日)
3日(水)	保健委員会子ども園訪問 課外活動(陸上)
4日(木)	学習参観(5限)/地区PTA/ 救急法講習会/PTA教養部会
5日(金)	委員会/課外活動(音楽)
8日(月)	計算力テスト
9日(火)	児童朝会
10日(水)	西山カウンセラー来校 課外活動(陸上)
11日(木)	地区子ども会(6限)
12日(金)	クラブ⑤/課外活動(音楽)
17日(水)	妙高高原地域子ども健康づくり協議 会総会・研修会(5・6年生参加)
19日(金)	委員会
22日(月)	期末清掃①
23日(火)	期末清掃②
24日(水)	給食最終日/1学期終業式
25日(木)	夏季休業(～8/26)
26(金)・29(月)・30(火)	課外活動(陸上)/特設課外水泳
31日(水)	特設課外水泳記録会

【7月の生活目標】

はっきり 返事をしよう

自分の返事について振り返り、はっきり返事をするよう意識づけます。返事を意識することを通して、相手が誰であってもしっかり話を聞くこともできるようにします。学校では、授業や下校指導の場面を中心に実践していきます。

妙高フレンドスクール 〈6月17日(月)～21日(金)〉

妙高市内のすべての6年生(総勢218名)が参加して、4泊5日の宿泊体験学習「妙高フレンドスクール」が開催されました。

子どもたちは、仲間づくりの活動「妙高アドベンチャー」、オリエンテーリングをしながら学ぶ「外国語活動」、与えられた食材でメニューを考え、調理する「びっくりランチ」、夢見平散策などの自然体験活動をたっぷり行いました。

また、夜の活動では、最終日の「ダンスフェスティバル」に向けた練習も行いました。

子どもたちにとって、家族と離れて5日間も生活することは、きっと初めてだったことでしょう。

初めて出会う仲間と協力しながら、自分たちの力で5日間をやり抜いた6年生の表情は、また少したくましくなったように思えます。



6月18日(火)の「朝のつどい」

(文責 妙高高原南小学校長 湯浅 昭司)